

市報ぎょうだ Gyouda

CITY PUBLIC RELATIONS

September 2025

9

No.951

夜明け前に収穫する

秋のぜいたく





一年のうち20日間しか収穫できず、収穫量も限られていることから幻の枝豆とも言われる行田在来枝豆『さきたまめ』を紹介します。

20日間しか収穫できないワケ

枝豆は本来大豆になっていく過程で少しずつ固くなり、色も黄色くなってしまうますが、『さきたまめ』は最も香りが硬さが良いとされている20日間に収穫されたものだけが出荷されます。

『さきたまめ』は品種改良が行われていないため、作付け時期をずらしても、収穫時期が長くなることはありません。そのため、収穫は9月下旬から10月中旬ごろまでに限られ、今年は約6トンの出荷を予定しています。

行田在来枝豆の歴史

行田在来枝豆が成長したものである行田在来青大豆は江戸時代から栽培されており、享保2(1717)年には栽培されていたとの記録が残っています。

稲作が中心であった当時の農業の一つの問題は、もろくて崩れやすく、貯めた水が抜けやすかった田んぼのあぜ。当時はあぜ際に泥を塗り固めて堤防にし、そこに豆の種をまきました。豆の木が育つと、それが目隠しになって田んぼの稲が動物に狙われにくい、虫が豆の方に付くので稲への害が減るなど諸説ありますが、いずれも昔の人の知恵で作られていました。

大豆と枝豆の関係

行田在来青大豆



実は
同じもの

さらに成長

行田在来枝豆



枝豆は未成熟な大豆を収穫したものです。枝豆は日本独特の野菜で、大豆同様にたんぱく質、カルシウム、ビタミン、食物繊維などの栄養分が含まれています。



行田豆吉

～300年前と変わらぬ味～ 旨みがギュッと凝縮された『さきたまめ』



『さきたまめ』としての復活

行田在来青大豆は古くから自家消費用の「あぜ豆」として栽培されていたため、収益を目的としたものではありませんでした。そのため、稲作の機械化や、収穫量が多く作りやすい品種の台頭などにより、昭和50年ごろに姿を消しました。

しかし、「埼玉で食べられてきた在来大豆を絶やしてはならない」と、埼玉県や農業関係機関が協力し、栽培を復活させる取り組みを開始しました。平成19年ごろにその取り組みに賛同した生産者たちが集まり、再び行田在来青大豆の栽培に力を入れ始めました。こうした中、行田在来青大豆の未熟な状態である枝豆を食したところ、そのおいしさに気付き、行田在来枝豆の商品化が進められました。

そして、平成25(2013)年に枝豆として差別化を図ることや、生産と販路の拡大を目的として「行田豆吉クラブ」が結成され市場への出荷が開始されました。令和5(2023)年には、この行田在来枝豆のブランド化を図るため、『さきたまめ』と命名し、パッケージなどを一新しました。

在来種ならではの濃い香りと味

『さきたまめ』は、皆さんが普段よく食べる枝豆とは一味違い、茹でた瞬間に香りが辺りに広がり、口に入れば、枝豆本来の濃い味を楽しむことができます。

成長過程



植えてから約90日ほどで枝豆になります



8月中旬に花が咲き始めます



種まきをしてから約1週間程度で芽が出ます

収 穫

収穫は夜明け前に行われます。

午前2時～4時ごろから収穫が始まります。気温が高くなり始める頃に収穫すると美味しさが凝縮されると言われています。



だっきょう 脱 莢・洗 浄

収穫された『さきたまめ』は市内の作業場に運ばれ、機械で茎からサヤを外す脱莢という作業を行います。この脱莢の作業が一番時間が掛かり、半日を要します。その後、脱莢された枝豆を洗浄します。



選 別

色彩選別機を用いて選別した後、さらに人の手によって綺麗なサヤを選別していきます。その後封詰めを行います。この作業が終わる頃には午後4時ごろになっています。

一日で約500キログラムを出荷します。



出 荷

選り抜かれた貴重な枝豆は『さきたまめ』として、午後5時以降に市場や市内の販売店に出荷されます。そして、早い店舗では当日中に店頭に並びます。

『さきたまめ』を栽培している様子を市公式YouTubeチャンネル「ぎょうだ動画チャンネル」で公開しています。



生産者インタビュー

行田豆吉クラブ

行田在来枝豆『さきたまめ』の普及活動をしている地元生産者団体



行田豆吉クラブではInstagramを開設しています。生育状況や販売情報、出荷情報などを配信しています。



行田豆吉クラブの皆さん

もっと魅力を広めていきたい！



行田豆吉クラブ会長
小松裕幸さん(荒木)

さきたまめは20日間しか収穫できないこともあり、販路は一部の店舗に限られています。しかし、より多くの人に豊かな香りとコク、そして風味の高い絶品のさきたまめを味わってもらえるよう日々愛情込めて育て、出荷をしています。

「行田といえば『さきたまめ』」と言ってもらえるよう、まずは市内の方、そして県内、全国へとさきたまめの名を広げていきたいです。

また、現在会員は7人しかおらず、収穫できるさきたまめの量には限りがあります。一緒にさきたまめを作る仲間を募集していますので、興味のある方はぜひ行田豆吉クラブ事務局(農政課)にご連絡ください。

さきたまめ 3つの特徴



- 1 口いっぱいに広がる濃いコク
- 2 他の在来種に比べてタンパク質が豊富で脂質が控えめ、ショ糖の含有量が多い
- 3 茹でた瞬間に芳醇な香りが広がる

加工食品

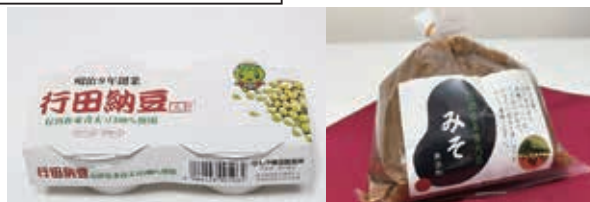
「埼玉県新商品 AWARD2023」で金賞を受賞したさきたまめ入りの「行田の餃子」を始め、行田在来青大豆を使用した「行田納豆」、「みそ」などの商品があります。

さきたまめ使用



行田の餃子

行田在来青大豆使用



行田納豆

みそ

主な販売店舗

- 埼玉県のイオンスーパー
- 古代蓮の里 売店
- 観光物産館ぶらっと♪行田
- 観光物産館さきたまテラス
- カインズ行田店
- 行田農産物直売所
- 行田はちまんマルシェ
- 市内の一部のコンビニエンスストア

▶問い合わせ 農政課(行田豆吉クラブ事務局) ☎580-3013

- ネット販売(販売先はホームページをご確認ください。)



国勢調査2025

国勢調査は、日本に住む全ての人と世帯が対象の最も重要な統計調査です。
回答結果は私たちの生活に欠かせないさまざまな施策に役立てられます。

9月中旬から調査員が各世帯を訪問します

①調査票の配布

9月中旬～下旬に調査員が各世帯を訪問し調査書類を配布します。
調査書類を配布する際に、世帯主または世帯の代表者の方の氏名や、
調査票の必要枚数などを伺います。

②調査への回答

次のいずれかの方法により回答してください。

- ・インターネットによる回答
- ・調査票(紙)を郵送提出用封筒(切手不要)に入れて投函
- ・調査票(紙)を調査員に提出

※スマートフォン・パソコンから24時間回答可能なインターネット回答を
おすすめしています。

③回答の確認

期日までに回答のなかった世帯には再度調査員が訪問します。



インターネット回答期間

9.20(土) ▶ 10.8(水)

調査票(紙)での回答期間

10.1(水) ▶ 10.8(水)



国勢調査を装った詐欺や不審な調査にご注意ください



個人情報情報は厳格に保護されます

調査員は次のものを身につけています



調査員が持ち歩く
手さげ袋(見本)



調査員が身に付けている
『国勢調査員証』(見本)

- ・国勢調査では、金銭を要求することはありません。
また、銀行口座の暗証番号やクレジットカード番号
をお聞きすることはありません。
- ・国勢調査を装った不審な訪問者や、不審な電話・電子メール・ウェブサイトなどにご注意ください。不
審に思った際には、速やかに広報広聴課統計担当に
お知らせください。
- ・調査員は、その身分を証明する『国勢調査員証』を
携帯しています。

詳しくは「国勢調査2025キャンペーン
サイト」をご確認ください。



- ・国勢調査では、「統計法」によって厳格な個人
情報保護が定められています。また、調査に従
事する者(調査員など)には、守秘義務が課せら
れています。
- ・インターネット回答中の通信は、全て暗号化
(SSL/TLS方式)されています。また、不正アク
セス防止の対策を24時間行っています。



▶ 問い合わせ 広報広聴課統計担当 (内線319・322)

全国高等学校空手道選抜大会で準優勝した 宮本陸さんと野本一真さんが市長を訪問しました



宮本陸さん(左)、野本一真さん(右)と行田市長

7月8日、埼玉在住の宮本陸さんと宮本在住の野本一真さんが、第44回全国高等学校空手道選抜大会男子団体組手競技三人制での準優勝の報告のため、市役所を訪問しました。

行田市長から、「今後もより高い目標に向かって精進し、ご活躍することを願っています」と激励の言葉がありました。

▶問い合わせ スポーツ振興課 ☎ 556—8336

鴻巣市と「災害時等における緊急給水に関する基本協定」を締結しました



協定を締結した行田市長と並木鴻巣市長(右)

7月28日、鴻巣市と「災害時等における緊急給水に関する基本協定」を締結しました。

この協定は、本市と鴻巣市との行政界付近に両市それぞれの配水管を接続するための連絡管を整備・運用するものです。

災害時などの断水発生時に鴻巣市と水道水を相互融通することで、水道水の安定供給が図られます。

▶問い合わせ 水道課工務担当 ☎ 553—0131

高齢者の付添人も利用者登録不要で「うきしろ号」に乗車できるようになります

1月6日から運行を開始した乗合型AIオンデマンド交通「うきしろ号」について、次のとおり見直し第2弾を行います。見直しは令和7年10月1日(水)の乗車分から適用します。

75歳以上の高齢者と同乗する付添人も利用者登録なしで乗車できるようになります

付添人が同乗することで高齢者の安全な乗降が期待されることから、75歳以上の高齢者と同乗する付添人(1人まで)について、利用者登録の有無を問わず乗車できるように見直します。付添人の運賃は高齢者本人の運賃と同額(500円)です。

なお、障がい者と同乗する介助者(1人まで)については、これまで利用者登録の有無を問わず乗車可能としており、この取り扱いに変更はありません。

運賃区分	現在
高齢者 (75歳以上)	500円
障がい者等	300円 障がい者と同乗する介助者は1人まで 300円で乗車可(利用者登録不要)



運賃区分	10月1日(水)～
高齢者等 (75歳以上)	500円 高齢者と同乗する付添人は1人まで 500円で乗車可(利用者登録不要)
障がい者等	変更なし

「うきしろ号」のご利用には事前に利用者登録が必要です(上記の付添人・介助者を除く)。詳しくは市ホームページをご確認ください。



市ホームページ

市内のバスやタクシーなどの公共交通の担い手となる運転手が不足しています。本市の公共交通をしっかりと維持していくために、各運行事業者では運転手を募集しています。詳しくは、各運行事業者のホームページをご確認ください。



朝日自動車(株)



国際十王交通(株)



(株)大堰観光バス



昭和タクシー(株)

▶問い合わせ 交通政策課地域交通担当(内線284)

行田市都市計画マスタープランの見直しなどにより 土地利用の可能性を拡大しました

市では、「行田市都市計画マスタープラン」および「都市計画法第34条第12号(産業系)区域指定の運用方針」を見直し、市街化調整区域における農地の一部で農地以外の土地利用の可能性を拡大しました。

都市計画法第34条第12号について

市街化調整区域は、市街化を抑制すべき区域とされており、原則として建築物の建築が制限されています。この制限にかかわらず、都市計画法第34条第12号に基づいて条例で指定する区域では、一定の基準を満たした上で、条例で定める建築物の建築が可能となります。

▶ 拡大の背景

農地は農作物の生産を目的とした土地であり、農地以外の土地利用は農地法などにより制限されていますが、市では「行田市都市計画マスタープラン」のゾーンに位置付けることにより、農地以外の土地利用(商業施設、工場、倉庫などの立地)ができる可能性を拓けることで、企業誘致の促進や工場などの誘致による定住人口の増加に繋げようとする取り組みを進めています。

▶ 従来との変更点

これまで市内の多くの農地では、農地以外の土地利用ができませんでした。

今回見直しを行ったことにより、農地以外の土地利用ができる可能性のある土地が約5倍となり、約26ヘクタールから約150ヘクタールに拡大しました。また、土地利用が可能な最低面積を10,000平方メートル以上から3,000平方メートル以上に緩和しました。

▶ 対象農地

道路幅員9メートル以上の幹線道路沿線でおおむね3,000平方メートル以上の一団の土地※農業振興地域内の農用地(青地)は対象外

▶ その他

農地以外の土地利用の可能性については企業誘致課までお問い合わせください。

▶ お問い合わせ 同課 ☎ 550—1555

令和7年度産水稻・大豆栽培時の害虫(カメシ類、ジャンボタニシ)駆除 に対する薬剤購入費、薬剤散布委託料などの費用の一部を補助します

▶ 対象 次の要件に全て該当する農業者

- ・市内に住所を有する個人または市内に本店もしくは主たる事務所を有する法人であること
- ・令和7年度営農計画書を行田市農業再生協議会に提出していること
- ・自ら薬剤を購入し散布した者またはJA、薬剤散布事業者などに委託して散布した者であること

▶ 対象経費 薬剤購入料金、空中散布委託料、薬剤散布委託料

▶ 対象面積 営農計画書に記載され、水稻および大豆が作付けされている圃場に薬剤散布など防除を行った面積

▶ 上限額

【5ヘクタール未満】10アール当たり1,000円(合計金額の1,000円未満は切り捨て)

【5ヘクタール以上】50,000円

※補助額は対象経費と面積当たり上限額のいずれか低い額です。

※1つの圃場に2回以上散布した場合でも交付対象面積は1回分とします。

▶ 申請方法 12月26日(金)までに、農政課(市ホームページからダウンロード可)、JAほくさい行田中央支店またはJAほくさい行田中部支店の窓口で配布する申請様式に必要事項を記入して提出してください。

▶ お問い合わせ 同課 ☎ 580—3013

郷土博物館ミュージアムショップが リニューアルオープンしました

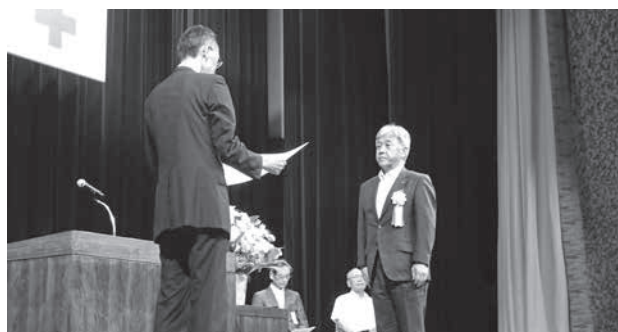


7月26日、観光客の周遊を促すとともに、来館者の満足度を向上させるために、郷土博物館のミュージアムショップをリニューアルしました。

販売場所を館内ラウンジスペースに移転・拡大し、同館の展示解説図録やオリジナルグッズをはじめ、忍城に関連するグッズや植輪グッズなどを加え、販売商品を豊富に取り揃えました。ぜひお立ち寄りください。

▶ お問い合わせ 郷土博物館 ☎ 554—5911

岩崎電気株式会社に 厚生労働大臣表彰状が授与されました



表彰状を授与された岩崎電気株式会社早川埼玉製作所長(右)

7月29日、埼玉会館で埼玉県および日本赤十字社主催による第56回彩の国さいたま「愛の血液助け合いの集い」が開催され、献血に積極的に協力した岩崎電気株式会社に厚生労働大臣表彰状が授与されました。

▶問い合わせ 地域共生社会推進課地域福祉担当(内線285)

湯本茂作さんから寄付金が寄贈 されました



湯本茂作さん(中央)と行田市長、渡辺教育長

8月1日、湯本茂作さんが市役所を訪れ、埼玉小学校および埼玉中学校の教育の発展のために役立ててほしいと400万円のご寄付をいただきました。

寄付金は、埼玉小学校および埼玉中学校の児童・生徒たちのために、有効に活用させていただきます。

▶問い合わせ 教育総務課(内線5308)

10月からマイナ保険証を活用した救急業務「マイナ救急」を開始します

「マイナ救急」とは、救急隊員がご本人のマイナ保険証(健康保険証として利用登録したマイナンバーカード)を活用し、傷病者が過去に受診した病院や処方された薬などの医療情報を閲覧する仕組みです。病気やけがで苦しむご本人や、気が動転しているご家族の方から、氏名や生年月日、服用している薬の情報など正確にお伝えいただくことが困難なこともあることから、ご本人やご家族の方の負担を軽くするとともに、より適切な処置ができるよう活用します。

▶開始日 10月1日(水)

▶マイナンバーカードから読み取る情報 病歴、薬の処方歴、病院の受診歴など

▶マイナ救急の流れ



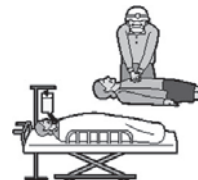
①傷病者が情報閲覧に同意する



②救急隊員がマイナンバーカードを読み取る
※暗証番号の入力不要



③救急隊員が医療情報を閲覧する



④より適切な処置や搬送先医療機関の選定につながる



「マイナ救急」
特設サイト

▶問い合わせ 消防総務課 ☎550-2119

市有地を売却します

市が保有する土地(2物件)を一般競争入札により売却します。市民に限らず、どなたでも参加することができます。

「一般競争入札」とは、購入希望者が入札に参加し、市があらかじめ定めた最低売却価格以上で最も高い価格をつけた方を購入者に決定する方法です。

物件番号	所在	登記地目	地積	最低売却価格
1	壱里山町8番6、8番28	雑種地	312.00㎡ (2筆合計)	19,094,000円
2	大字野1237番1	宅地	3983.17㎡	32,665,000円

▶入札関係資料の配布期間 10月23日(水)まで※土・日曜日、祝日を除く

▶入札参加申し込み受付期間 10月14日(火)～23日(水)※土・日曜日を除く

▶入札関係資料の配布場所 財産管理課(市ホームページからダウンロード可)

▶その他 申込期間や入札参加方法などの詳細は、要領を必ずご確認ください。

▶問い合わせ 財産管理課ファシリティマネジメント担当(内線311)



市ホームページ

令和8年度 私立幼稚園の入園児の募集を開始します

市内の私立幼稚園では、特色ある保育内容と子どもの年齢に合わせたカリキュラムを用意しています。
また、長時間保育や、夏休み中の預かり保育なども実施しています。詳しくは、各幼稚園にお問い合わせください。

- ▶ **募集年齢** 【2年保育】 令和3年4月2日～令和4年4月1日生まれのお子さん
【3年保育】 令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれのお子さん
【4年保育】 令和5年4月2日～令和6年4月1日生まれのお子さん
- ▶ **願書の配布場所** 10月15日(水)から各幼稚園
- ▶ **受付開始** 11月1日(土)※受付日や受付時間など、詳しくは各園にお問い合わせください。

 老本幼稚園 旭町16-38 TEL 553-2771	 行田幼稚園 富士見町2-27-5 TEL 554-5169	 富士見ヶ丘幼稚園 駒形1-9-7 TEL 556-7494	 ホザナ幼稚園 本丸11-20 TEL 555-2301	 まつたけ幼稚園 門井町2-19-9 TEL 554-7348	 やなぎ幼稚園※ 渡柳563-3 TEL 559-1001
---	--	--	--	--	---

※やなぎ幼稚園は、
令和8年度から
「認定こども園」
に移行予定

- ▶ **問い合わせ** 各幼稚園

令和8年度 保育施設の入所受け付けを開始します

- ▶ **入所時期** 令和8年4月
- ▶ **対象** 保護者の就労などにより、保育の必要のある乳幼児
(市から認定を受ける必要があります)
- ▶ **申請書類の配布開始日** 9月24日(水)から
- ▶ **配布場所** 市内認可保育施設、子ども未来課※9月24日(水)以降に市ホームページからダウンロード可
- ▶ **受付日時** 10月1日(水)～20日(月)【平日】午前9時～午後4時30分
【休日受付】10月19日(日)午前9時～午前11時30分
※10月21日(火)以降に申請書類を提出した方は、期限までに提出をした方の入所選考を行った後の選考となりますので、あらかじめご了承ください。
- ▶ **受付場所** 子ども未来課
- ▶ **市内認可保育施設一覧**



市ホームページ
9月24日(水)
から公開

名称	所在地	電話番号
認可保育所(対象年齢：0歳児～5歳児)		
若葉保育園	行田11-10	556-2797
和光保育園	佐間3-20-3	556-2503
白鳩保育園	駒形2-7-7	554-5221
ホザナ保育園	荒木1590-1	559-1543
太井保育園	棚田町1-58-10	556-5340
小羊チャイルドセンター	若小玉3547-1	556-7753
太田保育園	藤間510-3	559-3644
埼玉保育園	埼玉4595-1	559-2433
持田保育園	城西4-3-4	556-5456
長野保育園	長野1-34-5	553-3177
南河原保育園	南河原851	557-3234

名称	所在地	電話番号
地域型保育事業所(対象年齢：0歳児～2歳児)		
たけのご保育室	門井町2-17-7	553-0378
長澤家庭保育室	駒形2-11-11	554-2539
あゆみ保育園	棚田町1-50-1	553-5277
こどものみらい保育園	行田9-25	598-7035

名称	所在地	電話番号
認定こども園(保育部分の対象年齢：0歳児～5歳児) (教育部分の対象年齢：満3歳～5歳児) 教育部分の入園については、各施設へ直接お問い合わせください。		
行田こども園	荒木4961	557-2943
やごうこども園	谷郷2-5-1	554-5752
やなぎ幼稚園※	渡柳563-3	559-1001

※やなぎ幼稚園は、令和8年度から「認定こども園」に移行予定

- ▶ **市外の保育施設を希望する場合**(希望する保育施設に1つでも市外の保育施設が含まれる場合)
本市から希望する保育施設のある市町村へ協議しますので、事前に子ども未来課にご相談いただき、当該市町村の締め切り日の1週間前までに申請書類を同課へ提出してください。なお、市町村ごとに受付期間や必要書類が異なるため、詳細は当該市町村へ直接お問い合わせください。
- ▶ **注意事項**
 - ・現在入所が保留になっている方や保育施設の転園を希望する方も新たに申請が必要です。
 - ・入所申し込み前に、お子さんと一緒に希望する保育施設の見学を行ってください。なお、見学の前にはあらかじめ保育施設に連絡してください。
- ▶ **その他** 年度途中の入所は、入所希望月の前月10日を申込締切日としていますが、3月入所の申込締切日は令和8年1月30日(金)までとなりますので、ご注意ください。
- ▶ **問い合わせ** 同課子ども・子育て担当(内線257・263)

令和8年度 学童保育室の入室申請受け付けを開始します

▶入室期間 令和8年4月1日～令和9年3月31日

▶対象 保護者の就労などにより、日中常時留守となる家庭の市内在住の小学生または市外在住で市内の小学校へ通学している小学生

▶申請受付期間

10月1日(火)～20日(月)(子ども未来課での受付時間は月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分※祝日を除く)

▶申請書配布期間および場所

各学童保育室または子ども未来課※9月24日(火)以降に市ホームページからダウンロード可

▶申請方法 行田市電子申請・届出サービスまたは直接子ども未来課

▶注意

- ・今年度、学童保育室を利用している場合も申請が必要です。
- ・入室決定は申請順ではありません。お子さんの学年や保護者の勤務状況などを審査し、必要性が高い順に入室を決定します。
- ・書類に不足がある場合や入室基準を満たしていない場合は、受け付け(入室審査)ができません。
- ・就労などの状況が変わり入室基準を満たさなくなった場合は、年度途中でも退室いただきます。

▶保護者の就労などにおける入室基準

児童の学年	就労などの終了時間	月の平均就労などの日数(月平均)
1年生	午後3時以降	12日以上
2～4年生	午後3時以降	15日以上
5～6年生	午後4時以降	15日以上



電子申請・届出サービス



市ホームページ
9月24日(火)
から公開

▶学童保育室一覧

学区	名称	場所	電話番号
忍小	忍第一学童保育室(中・高学年中心)	忍小学校校舎内	556-1139
	忍第二学童保育室(低学年中心)	忍小学校敷地内	556-0402
南小	南第一学童保育室(低学年中心)	南小学校校舎内	556-6666
	南第二学童保育室(中・高学年中心)	南小学校敷地内	552-0577
西小	西第一学童保育室(中・高学年中心)	西小学校南校舎内	556-1143
	西第二学童保育室(中・高学年中心)	西小学校北校舎内	579-5347
東小	東第一学童保育室(中・高学年中心)	東小学校校舎内	554-3750
	東第二学童保育室(低学年中心)	東小学校敷地内	556-5231
北小	北第一学童保育室(低学年中心)	北小学校体育館内	553-3040
	北第二学童保育室(中・高学年中心)	北小学校校舎内	556-7219

学区	名称	場所	電話番号
桜ヶ丘小	さくら第一学童保育室(低学年中心)	桜ヶ丘小学校敷地内	552-0556
	さくら第二学童保育室(中・高学年中心)	桜ヶ丘小学校校舎内	
太田小	太田学童保育室	太田小学校校舎内	554-2448
泉小	泉太井第一学童保育室(低学年中心)	泉小学校敷地内	554-5808
	泉太井第二学童保育室(中・高学年中心)	泉小学校校舎内	577-4947
埼玉小	埼玉第一学童保育室(低学年中心)	埼玉小学校敷地内	559-2500
	埼玉第二学童保育室(中・高学年中心)	埼玉小学校校舎内	
南河原小	南河原学童保育室	南河原小学校校舎内	557-3331
下忍小	下忍学童保育室	下忍小学校敷地内	556-8840
見沼小	見沼学童保育室	見沼小学校校舎内	557-5430

▶問い合わせ 同課子ども・子育て担当(内線262)

納期のお知らせ(9月分)

納付書や口座振替で納めていただく方(普通徴収)

固定資産税・都市計画税・・・・・・・・・・・・・3期
国民健康保険税・・・・・・・・・・・・・3期
介護保険料・・・・・・・・・・・・・3期
後期高齢者医療保険料・・・・・・・・・・・・・3期

納期限 9月30日(火)

・市税などの納付には、「安心! 確実! 便利!」な口座振替をご利用ください。
・納付の相談は随時窓口で実施しています。

▶問い合わせ 収納課(内線236・237)

公共下水道の供用開始区域を拡大しました

9月1日(月)から次の供用開始区域を拡大しました。区域の詳細は下水道課で閲覧することができます。

▶供用開始区域

元荒川第10処理分区(大字若小玉の一部)

▶問い合わせ 同課業務担当 ☎564-0303

リチウムイオン電池の適切な分別排出 (有害ごみ)にご協力ください

リチウムイオン電池に起因する火災事故が増加しています。リチウムイオン電池は、強い衝撃が加わり変形・破損すると発火する恐れがあります。

リチウムイオン電池本体にはリサイクルマークが表示されています。製品自体には表示がなくても「充電できる製品」や「電源につながなくても動く・光るなどする製品」には、リチウムイオン電池が使われている可能性が高いです。

捨てる時は「電池を濡らさない」「電池を無理に外さない」「他の廃棄物と混ぜない」「電池の端子部分を露出させない」ことが重要です。ビニール袋に入れて「有害ごみ」の日に決められた場所に出してください。



▶リチウムイオン電池使用製品の具体例

ハンディファン、加熱式たばこ、電気シェーバー、電動歯ブラシ、モバイルバッテリー、コードレス家電(充電式掃除機など)、電話機(固定・携帯・スマートフォン)、ノートパソコン、タブレット、おもちゃ

リサイクルマーク

▶問い合わせ

埼玉県資源循環推進課

☎048-830-3106または環境課

☎556-9530



埼玉県ホームページ

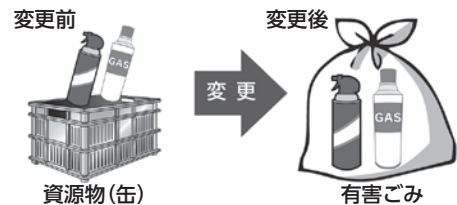
10月1日からスプレー缶などの分別区分が 「資源物」から「有害ごみ」に変更になります

現在、スプレー缶やガスボンベ(カートリッジ式)は中身を使い切ってから「資源物(缶)」として出していますが、中身の残ったスプレー缶などによる収集時や中間処理施設での爆発事故が多発しているため、ごみの分別区分を「資源物(缶)」から「有害ごみ」に変更します。

スプレー缶やガスボンベ(カートリッジ式)は、必ず中身を使い切ってからビニール袋に入れて、電池や蛍光灯などの「有害ごみ」の日に決められた場所に出してください。

中身が残っているスプレー缶やガスボンベ(カートリッジ式)は収集できませんので、専門の処理業者に処理を依頼してください。

▶変更日 10月1日(火)



▶問い合わせ 環境課 ☎556-9530

「手話言語の国際デー」 忍城ライトアップを行います

毎年9月23日は「手話言語の国際デー」です。

市では、「手話は言語である」との認識に立ち、ろう者への理解を深め、相互に人格と個性を尊重し、安心して幸せに暮らすことができる共生社会の実現を目指し、平成29年12月に手話言語条例を制定しました。

このたび、「手話言語の国際デー」に合わせて、忍城のブルーライトアップを行います。ライトアップされた忍城の写真や動画をSNSにアップするなど、手話言語についての意識を高めていきましょう。

▶期日 9月23日(火)日没～午後10時

▶問い合わせ 福祉課障がい福祉担当(内線265)

夏のエコライフDAYにご参加ください

「一日環境によいことをする日」を決めて、チェックシートを基に、省エネ・省資源など環境に配慮した生活を送る「エコライフDAY」。地球温暖化防止のため、エコライフDAYに参加してご自身のライフスタイルを見直すきっかけにしてみませんか。

▶実施期間 10月14日(火)まで

▶参加方法 埼玉県ホームページ「エコライフDAY & WEEK 埼玉特設サイト」(<http://ecolife-saitama.jp>)からご参加ください。

▶問い合わせ 環境課 ☎556-9530



埼玉県ホームページ
エコライフDAY &
WEEK特設サイト

令和7年度 中央公民館実用講座の受講生を募集します

	講座名	日 時	場 所	内 容	定員(先着順)
①	親子で学ぶ「お金」のキホン講座	10月4日(土) 午前10時～11時	中央公民館第2学習室	お子さんにお金との付き合い方をきちんと教えたい方向けに、お金のキホンを解説します。	30人
②	初心者向け「資産形成」講座	10月18日(土) 午前10時～11時	中央公民館第1学習室	資産運用の基礎知識を学び、仕組みを理解し、効率的な運用を考えます。	100人

▶場所 中央公民館

▶対象 市内在住・在勤の方 ※①は親のみの参加も可

▶受講料 無料

▶講師 明治安田生命保険相互会社社員

▶申し込み 9月2日(火)午前9時から直接、電話、市公式LINEのいずれかの方法により同館 ※②は申し込み不要

▶問い合わせ 同館 ☎556-2649



市公式LINE

行田市下水道事業運営審議会の 委員を募集します

市では、下水道事業の運営に関して市民の皆さんからの意見を施策に反映させるため、行田市下水道事業運営審議会の委員を募集します。

- ▶ **応募資格** 次の要件を全て満たす方
- ・満18歳以上で市内に1年以上住民登録し、下水道整備区域に住んでいる方
 - ・平日昼間に開催する会議(年1～4回程度)に出席できる方
 - ・応募日現在、本市の他の附属機関の委員の職にない方
 - ・市職員および市議会議員でない方
- ▶ **募集人数** 3人
- ▶ **任期** 委嘱した日から2年間
- ▶ **応募方法** 下水道課で配布している応募用紙(市ホームページからダウンロード可)に必要な事項を記入の上、9月30日(火)(必着)までに持参、郵送、Eメールのいずれかの方法により提出してください。
- 【持参・郵送】〒361-0038 行田市前谷1-1 行田市下水道課
- 【Eメール】gesui@city.gyoda.lg.jp
- ▶ **選考方法** 書類選考の上決定し、結果は応募者全員に通知します。
- ▶ **問い合わせ** 同課業務担当 ☎ 564-0303

9月1日～10日は 「屋外広告物適正化旬間」です

埼玉県では良好な景観の形成と風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的として、埼玉県屋外広告物条例を定めています。ルールを守るとともに、定期的に安全点検を行い、事故の防止に努めましょう。

屋外広告物とは

- ・常時または一定の期間、屋外で公衆に表示されるもので、看板、立看板、はり紙、はり札、広告塔、広告板などが該当します。
- ・文字やシンボルマーク、商標、写真などが表示されたものが広告物に該当し、営利的なものかどうかなど、表示内容は問いません。

屋外広告物を設置するには

- ・屋外広告物には大きさや高さの制限、設置できない場所(禁止地域)、看板などを設置できないもの(禁止物件)などのルールがあり、原則として設置許可が必要です。
- ・設置に関する相談・申請は、管理課の窓口で受け付けています。

▶ **問い合わせ** 同課管理担当 ☎ 550-1552

埼玉県女性キャリアセンター 就職支援セミナー

日 時	セミナー名	内 容	定 員
10月1日(水) 午前10時～正午	印象管理 ～パーソナルカラーを使って印象アップ～	就職活動や、大事なイベントで、自分をより魅力的に演出できるパーソナルカラーを学ぶ。 ※ご自身のパーソナルカラー診断は行いません。	オンライン130人
10月3日(金) 午前10時～正午	初心者でも大丈夫！ 在宅ワークのすすめ 入門セミナー	働く場所や時間を自分で選べる在宅ワークの初心者セミナー。雇用型との違いや基本ポイントなど、在宅ワークの疑問を解消する。	オンライン130人
10月17日(金) 午前10時～正午	社会人として知っておきたいビジネスマナー ～あなたも輝くマナー美人に～	ビジネスマナーの基本である身だしなみや立ち居振る舞い、敬語や慣用句を学ぶ。	オンライン130人
10月28日(火) 午前10時～正午	未来のためのお金のハナシ	身の回りのお金に関する基礎知識、セカンドライフの収入と支出、ワークライフバランスについて学ぶ。	オンライン130人

- ▶ **場 所** オンライン(ZOOM)
- ▶ **対 象** 就職を希望する女性
- ▶ **受講料** 無料
- ▶ **申し込み** 9月1日(月)以降にホームページからお申し込みください。前日までに受講案内をメールで送付します。
- ▶ **問い合わせ** 埼玉県女性キャリアセンター ☎ 048-601-5810



埼玉県女性
キャリアセンター
ホームページ

第38回企画展「魚食のグルメ」

幕末の忍藩士・尾崎石城^{せきじょう}が記した「石城日記」には、さまざまな食用魚が登場します。フナやウナギなどの淡水魚に限らず、マグロ、イワシ、タラといった海水魚も食されていました。調理方法も、焼く、煮る、刺身などバラエティー豊かです。

展覧会では、地域に根差した歴史資料である「石城日記」を足掛かりとして、幕末から近代にかけての魚食文化を紹介します。魚の剥製や船の模型など、幅広い資料を展示します。ぜひご来場ください。

- ▶期 間 10月11日(土)～11月24日(月)※10月13日、11月3日・24日を除く月曜日と10月14日(火)、11月4日(火)は休館
- ▶開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- ▶場 所 郷土博物館企画展示室
- ▶入館料 【大人】200円、【大学・高校生】100円、【小・中学生】50円※団体割引あり

展示解説会

- ▶日 時 10月18日、11月1日・22日いずれも土曜日午後2時～2時30分
- ▶場 所 同館企画展示室
- ▶そ の 他 申し込み不要



11年ぶり2度目の里帰りとなる「石城日記」(部分)
(慶應義塾大学文学部古文書室蔵)

公開講演会「資料にみる魚と魚料理

～江戸時代から近現代まで～

- ▶日 時 11月15日(土)午後2時～3時30分
- ▶場 所 同館講座室
- ▶講 師 橋村修さん(東京学芸大学教育学部教授)
- ▶定 員 80人(先着順)
- ▶申し込み 9月17日(火)午前9時から電話
または行田市電子申請・届出
サービスにより同館



- ▶問い合わせ 郷土博物館 ☎554—5911

電子申請・届出
サービス

「行田足袋コレクション2025」の 出演者を募集します

11月9日(日)に忍城址で開催する行田足袋のファッションショーイベント「行田足袋コレクション2025」の出演者を募集します。

和装、洋装、コスプレなどを問わず国の伝統的工芸品である行田足袋の履きこなしにこだわりがある方の応募をお待ちしています。「足袋のまち行田」を一緒に盛り上げましょう。



市ホームページ

- ▶主 催 行田足袋組合
- ▶申し込み 10月31日(金)までに二次元コードを読み取り、必要事項を入力の上送信
- ▶問い合わせ 商工観光課(内線5405)

行田市防犯のまちづくり・暴力追放 市民大会を開催します

- ▶日 時 10月11日(土)午前10時開演(午前9時30分から受け付け)
- ▶場 所 商工センターホール
- ▶内 容 地域安全功労者表彰、防犯ポスター優秀賞表彰、行田市地域安全推進連絡協議会太井支部による防犯活動事例発表、行田警察署による防犯講演など
- ▶入 場 料 無料
- ▶主 催 行田市防犯協会
- ▶共 催 行田市、行田警察署、行田市暴力排除推進協議会
- ▶問い合わせ 同協会 ☎553—3531

▼問い合わせ
9530

環境課 ☎5561

さしあげます

▷食器棚 ▷クリスマスツリー ▷本棚 ▷シングルベッド ▷おもちゃケース ▷二段ベット

ゆずってください

▷自転車 ▷子ども用自転車 ▷食器棚 ▷マージャンパイ ▷ガーデン用テーブルセット ▷ソファ(2人掛け) ▷温冷風機 ▷車椅子(自走式) ▷DVDプレーヤー

市では、資源の有効利用とごみの減量化を図るため、不用品登録制度を実施しています。この制度は紹介制となりますので、紹介後は、本人同士で話し合いの上、無償で品物の受け渡しを行ってください。
なお、登録期間は3カ月です。

不用品情報(無料)



行田市義務教育学校設置に向けた再編計画〈個別編〉を策定しました。

これまで「市報ぎょうだ」において、義務教育学校に関する情報をお知らせしてきましたが、教育委員会では、地区別・保護者向け説明会や市民意見募集を経て、令和7年7月に「行田市義務教育学校設置に向けた再編計画〈個別編〉」を策定しました。

今後は、再編計画〈個別編〉で示した目標スケジュールに沿って、まずはBブロック新校の設置に向けて、設計・工事を進める上での基本的な考え方や指針となる基本構想を定めていく予定です。

基本構想では、敷地の選定をはじめ、校舎の位置や各教室の配置、施設の整備方法などについて整理していきます。併せて、どのような学校としていきたいか、子ども

たちや学校関係者の皆様の声を伺うワークショップの開催も検討しています。改めて進展がありましたら、市民の皆さまにお知らせしたいと考えています。

本市では、引き続き、子どもたちの学びの場として、魅力ある義務教育学校を設置し、より良い学校教育の充実にに向けて取り組んでいきます。



▶問い合わせ

教育総務課学籍・学校再編担当(内線 5307)

各種相談 (9月15日～10月14日)

相 談	場 所	期 日	時 間	問い合わせ
法律(予約制)	産業文化会館 2階会議室	9月30日(火)	※予約は9月1日(月)から	地域活動推進課 (内線 252)
		10月9日(木)	※予約は9月16日(火)から	
行政機関に対する 意見・要望	産業文化会館 2階会議室	9月22日(月)	午後1時30分～3時30分	
消費生活 多重債務	市役所	毎週月～金曜日(祝日を除く)	午前9時30分～正午 午後1時～3時30分	消費生活センター (内線 495)
結婚相談	コミュニティ センターみずしろ	10月12日(日)	午前10時～正午	行田結婚支援センタ ー ☎090-3131-8356
不動産	庁舎西側車庫上 北会議室	9月17日(火)	午前9時～11時30分	公益社団法人埼玉県宅 地建物取引業協会北埼 支部 ☎562-5900
相続、遺言、離婚、 日常生活の困り事	VIVAぎょうだ	10月8日(火)※予約制	午後1時～4時	埼玉県行政書士会埼玉 支部 ☎564-0104
夫婦関係・DVなど (予約制) ※女性相談員対応	VIVAぎょうだ	毎週木・土曜日 ※土曜日は市内在住の方を対象に電話相談 も受け付けます。	午後1時～4時 (電話相談は午後1時～2時)	VIVAぎょうだ ☎556-9301
人権	きっずプラザ あおい	10月8日(火)	午後1時30分～3時30分	人権・男女共同参画 推進課(内線 221)
税務(予約制)	関東信越税理 士会行田支部 (市役所前)	毎週水曜日(祝日を除く)※予約受け付け は毎週月・水・金曜日(祝日を除く)の 午前10時30分～午後3時30分	午後1時～4時	関東信越税理士会 行田支部 ☎554-1411
夜間の納付相談	市役所	毎週火曜日(祝日を除く)	午後5時15分～7時	収納課(内線 236・237)
水道料金の夜間納付	水道庁舎(前谷)	10月7日(火)	午後5時15分～7時	水道課 ☎553-0131

※一部の相談についてはメールでの問い合わせもできます。詳しくは、市ホームページをご確認ください。



子どもの健康

赤ちゃんクラス(申し込み不要)

日 時 9月8日(月)午前9時30分～11時
内 容 お子さんの体重測定や育児相談
対 象 4カ月未満のお子さんとその保護者

離乳食(初期)教室(要申し込み)

日 時 9月9日(火)午前10時30分～11時30分(午前10時15分から受け付け)
対 象 4～6カ月のお子さんとその保護者(保護者のみの参加可)

離乳食(後期)教室(要申し込み)

日 時 9月10日(水)午前10時30分～11時30分(午前10時15分から受け付け)
対 象 9～11カ月のお子さんとその保護者(保護者のみの参加可)

乳幼児相談(要申し込み)

日 時 9月19日(金)午前9時30分～11時30分
対 象 就学前のお子さんとその保護者

乳幼児健診など

4カ月児健診は、赤ちゃん訪問時にお知らせします。離乳食(初期)教室、1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診については、対象者に通知します。転入されたお子さんで、前住所地で受診していない方はこども家庭センターにご連絡ください。

問い合わせ 同センター ☎ 579-8033

おとなの健康

健康相談(要申し込み)

日 時 9月26日(金)
※時間は申し込みの際にお知らせします。
場 所 市役所201B会議室
内 容 保健師、管理栄養士、歯科衛生士による食事、生活習慣、お口の健康などについての相談

こころの相談(要申し込み)

日 時 9月24日(水)
※時間は申し込みの際にお知らせします。
場 所 忍・行田公民館会議室
内 容 精神科医、保健師による相談

問い合わせ 健康課(内線361～364)



みんなの保健室

子どもの健康についての問い合わせ
こども家庭センター(保健センター内)
長野2-3-17 TEL: 579-8033

おとなの健康についての問い合わせ
健康課(市役所4番窓口)
本丸2-5 TEL: 556-1111
(内線361～364)

休日急患診療

休日や祝日の急な病気やけがのときは次の医療機関をご利用ください。

期 日	医療機関名	電話番号
9月15日(月)	壮幸会行田総合病院	552-1111
9月21日(日)	清幸会行田中央総合病院	553-2000
9月23日(火)	清幸会行田中央総合病院	553-2000
9月28日(日)	壮幸会行田総合病院	552-1111
10月 5日(日)	清幸会行田中央総合病院	553-2000
10月12日(日)	壮幸会行田総合病院	552-1111
10月13日(月)	壮幸会行田総合病院	552-1111

診療時間 午前10時～午後5時

診療科目 内科、小児科、外科

※医療機関が変更されることがありますので、事前に問い合わせてください。

在宅医療窓口

「病気があるが、足が不自由で通院できない」「寝たきりの家族がいて床ずれが心配」などの相談があるとき

・行田市在宅医療・介護連携支援センター

☎ 553-2003

・相談時間 午前9時～午後5時

※土・日曜日、祝日、年末年始を除く

「歯科医院への通院が困難」「訪問歯科診療を行っている歯科医院が知りたい」などの相談があるとき

・在宅歯科医療推進窓口 ☎ 080-1391-8020

・相談時間 午前10時～午後3時(正午～午後1時を除く) ※土・日曜日、祝日、年末年始を除く

#7119 (365日24時間対応)

病院に連れて行こうか迷ったときや受診できる医療機関を知りたいときの全国共通ダイヤルです。また、埼玉県では、「埼玉県AI救急相談」を実施しています。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/aikyukyu.html>

<健康づくりチャレンジポイント認定講座>ピラティスで心も身体もスッキリ講座

ピラティスは、心地よいストレッチで心も体もリフレッシュできるエクササイズ方法です。身体の内側から鍛えることで姿勢を改善し、筋力と柔軟性を高め、集中力やバランス感覚の向上にも効果的と言われています。本講座に参加することで日常のストレスや緊張を解き放ち、心身の疲れを癒しませんか。

日 時 9月29日(月)午後2時～3時30分
(午後1時45分から受け付け)

場 所 総合体育館柔道場
対 象 市内在住の方
定 員 30人(先着順)
費 用 無料



電子申請・届出サービス

持 ち 物 バスタオル、ヨガマット(必要な方のみ)、
運動しやすい服装、筆記用具、飲み物

申し込み・問い合わせ
二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信または直接もしくは電話で健康課
(内線361～364)

9月10日～16日は「自殺予防週間」です

自殺に追い込まれるという危機は誰にでも起こり得るものです。孤独を感じたり職場や家族に関する悩みを抱えていたりすると心が疲れてしまうことがあります。悩みをお持ちの方、困り事がある方は一人で抱え込まず、身近な人に相談することで気持ちが楽になることがあるかもしれません。身近な人に相談しづらい時は、悩みや困り事の内容に応じた電話やSNSの相談窓口にご相談してみてください。また、身近な人がイライラしている、眠りにくくなっているなど様子がいつもと違うと感じた時はそっと声を掛けてみてください。声を掛け合うことで不安や悩みを少しでも和らげることができるかもしれません。

厚生労働省ウェブサイト「まもろうよこころ」

電話やSNSの相談窓口などを分かりやすく紹介しています。



厚生労働省
ホームページ

身近な電話相談窓口

- ・#いのちSOS ☎0120—061—338
- ・よりそいホットライン ☎0120—279—338
- ・埼玉いのちの電話 ☎048—645—4343
- ・チャイルドライン ☎0120—99—7777
- ・こころの健康相談統一ダイヤル ☎0570—064—556

- ・こころの相談(健康課) ☎556—1111(内線361・362)

生成AIを活用したコンテンツ 「かくれてしまえばいいのです」

SOSの出し方を知っていても出せない子どもも多くいます。そんな子どもの気持ちを受け止めるため、匿名・無料で24時間いつでも誰でも利用できます。



かくれてしまえば
いいのです
Webサイト

- ▶問い合わせ 同課(内線361・362)

介護に関する入門的研修を実施します

▶日時

- ①10月7日(火)午前9時30分～午後3時45分
- ②10月14日(火)午前9時30分～午後4時10分
- ③10月21日(火)午前9時30分～午後3時40分
- ④10月28日(火)午前9時30分～午後3時40分
の全4回

▶場所 産業文化会館2階第2会議室

▶内容 介護職の役割や介護の専門性、生活支援技術の基本、認知症への理解など介護に関する基本的な知識や技術を学びます。また、最終日には市内介護事業所の担当者との仕事に関する相談会を行います。

▶対象 市内で介護の仕事に携わりたい方や興味関心がある方で、4日間の研修および相談会に参加できる方

▶定員 30人(先着順)

▶受講料 無料

▶主催 行田市

▶その他 詳しくは市ホームページをご確認ください。

▶申し込み・問い合わせ

9月30日(火)までに市公式LINEまたは二次元コードを読み取り必要事項を入力の上送信するか、電話で株式会社ミッキーNEXT ☎03—5923—9150(祝日を除く月～金曜日午前10時～午後5時)



市ホームページ



申し込み
フォーム

介護の仕事に興味がある方の就職を埼玉県が支援します

介護の仕事は、人や社会を支えるやりがいのある仕事です。

埼玉県では介護の仕事に興味がある方に、県内の介護事業所への就職を支援しています。介護の仕事の経験がない方や介護の仕事にブランクがある方も、お気軽にご相談ください。

▶支援内容

- ・埼玉県の介護のお仕事応援ポータルサイトによる介護の仕事に関する情報提供
- ・介護の仕事が未経験の方のための介護に関する入門的研修などの実施
- ・職場見学・職場体験の実施
- ・個別マッチングを通して、県内介護事業所への就職を支援

▶対象 介護事業所で介護職の勤務を希望する方

▶その他 対面またはオンラインで説明会を随時開催しています。

▶事業委託元 埼玉県福祉部高齢者福祉課

▶問い合わせ 株式会社パソナライフケア(受託事業者)
☎0120—121—767

来て! 見て!

図書館

と しょ かん

開館時間

午前9時～午後7時

休館日

9月1日(月)・2日(火)・8日(月)・16日(火)・
22日(月)・29日(月)・30日(火)
10月1日(水)～3日(金)・6日(月)・14日(火)

※休館日の図書の返却はブックポストをご利用ください。

市立図書館

佐間3-24-7(「みらい」内)

TEL:556-4227

FAX:555-3770



特別整理期間(蔵書点検)に伴う休館

図書館で所蔵している資料があるべき場所に収まっているかを確認し、行方不明などの資料がないか点検する作業や、通常の館内整理日にはできない大掛かりな書架の整理を実施するため、定例休館日を含めた次の期間中は休館します。返却資料がある場合には、ブックポストをご利用ください。

▶特別整理期間 9月29日(月)～10月3日(金)

ぎょうだ電子図書館について

ぎょうだ電子図書館(<https://web.d-library.jp/gyoda/>)

蔵書点検中は、図書館の利用はできませんが、ぎょうだ電子図書館は利用できます。

市内在住で、図書館利用カードをお持ちの方はすぐに利用できます。

「利用者ID」には利用カード表面のバーコードの下に書かれている利用者番号7桁(ハイフン不要)を入力。「パスワード」は、最初に利用する時に仮パスワード(ご自分の生年月日8桁)を入力してログインできます。



ぎょうだ
電子図書館
ホームページ

ぎょうだ電子図書館 読み放題コンテンツについて

ぎょうだ電子図書館の読み放題コンテンツ40点は9月30日(火)をもって読むことが出来なくなります。なお、10月1日(水)から新しい読み放題コンテンツを用意する予定です。

英語であそぼう Let's Play In English!

- ▶日 時 9月21日(日)午前11時から
- ▶場 所 図書館おはなしのへや
- ▶内 容 英語の歌遊びや絵本の読み聞かせ
- ▶対 象 幼児および小学生
- ▶そ の 他 申し込み不要



北大竹遺跡出土子持勾玉
(埼玉県教育委員会提供)

この遺跡の「儀礼の場」は、同じ時期に盛行する埼玉古墳群や、若小玉古墳群を築いた人々が関わって、祈りの儀式を執り行ったのではないかと考えられます。

現在、郷土博物館常設展示室「古代の行田」で、15個の子持勾玉の実物資料と、出土した土師器・須恵器や出土状況の写真などを展示しています。古墳時代の祈りの様子をぜひご覧ください。

(郷土博物館 篠田泰輔)

近年、北大竹遺跡の発掘調査で6世紀中ごろから7世紀中ごろの遺物が集中した地点が3カ所確認されました。この遺構は何らかの儀礼を執り行ったところか、儀礼に使った道具を片付けて置いたところではないかと考えられています。

この遺跡は大字若小玉・藤原町に所在し、古墳時代から平安時代までの集落を中心とする複合遺跡です。また、古墳跡約50基も確認されており、本遺跡を中心として、墳丘が現存する八幡山古墳と地蔵塚古墳を含む若小玉古墳群が展開しています。

した。その地点からは、土師器やさまざまな器種の須恵器、玉類、石製品、石製模造品、鉄鍬・鉄製模造品などの金属製品が数多く発見されています。日常生活では使われない土器が幾重にも折り重なって確認されました。同時に発見された特筆すべき遺物として、子持勾玉、武器や農具を模した鉄製模造品、通常古墳に副葬される環頭大刀柄頭が挙げられます。特に子持勾玉は、一つの遺跡から確認された個数としては全国で最も多い45個が発見されました。子持勾玉とは勾玉(親)に小型の勾玉(子)を表す突起が複数表現される形状のものです。これは装身具として使用されたものではなく、多産や豊穣を願って作られた儀礼の道具と言われています。

行田歴史系譜 378

資料がかたる行田の歴史

78

北大竹遺跡―儀礼の場―



食を通じて地域と関わりつながつた思い

丸橋 悦子さん（西新町・80歳）

今月はいきいきサロンの設立などに貢献した丸橋悦子さんを紹介します。

丸橋さんは神奈川県平塚市出身で、27歳のころ、出産をきっかけに行田市へ転入しました。母がさまざまな工夫を凝らした料理を作ってくれたことから、「自分の子どもにもしてあげたい」との思いと家族の健康を考え、管理栄養士の資格を取得しました。当時40歳を過ぎていましたが、「勉強に年齢は関係ない」と家事や子育ての合い間に時間を見つけて勉強したそうです。資格取得後は、幼稚園に通園する子どもたちの食育や、高齢者を対象とした栄養講座や食生活の指導などを行ってきました。そして60歳の



ころに介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格を取得した他、民生委員・児童委員として、それまで以上に行田市の共生社会実現に尽力してきました。

70歳のころには、近所の有志が集まり、閉じこもりがちな高齢者の交流の場を作ろうと、「西新町いきいきサロン」を設立。その後、市が行う出前講座で、介護予防のために重りを付けて行う体操「100歳体操」を知り、いきいきサロンで週1回実施してきました。「一人ではなかなか続けられない体操も皆となら」という高齢者も多く、毎回10人以上が参加。体操だけでなく、「10分間の休憩や水分補給、おやつ」の時間には楽しいおしゃべりにも花が咲きます」と丸橋さんは笑顔で話してくれました。こうした活動の他、いきいきサロンでのボランティア活動が評価され、昨年埼玉県から「住みよい地域社会の実現のため実践活動している団体」を表彰するシラコバト賞を受賞しました。

これからについて丸橋さんは、「いきいきサロンの平均年齢が75歳以上なので、若い方にも参加してもらい、バトンをつないで長く続いてほしい」と語ります。丸橋さんらが続けてきたいきいきサロンが今後も高齢者の支え合いの拠り所として、安心して暮らすことのできる地域を作り続けていくことでしょう。

俳句 田 壇

ぎょうだ はいだん

俳句応募方法

一人3句以内。住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記の上、はがきまたは封書で広報広聴課まで。※毎月末日必着
なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。

桑の実も立派なおやつ戦争っ子

持田 中野 華泉

【句評】昭和30年代までの田舎の子は口の回りを紫色に染めて桑の実を食べた。当時は結構甘かったような記憶があるが、甘味食品の整っている現代では食べる気にもならない。食料不足時代を生き抜いた作者の主張に共感できる人は既に少数派となってしまった。しかし、ネット社会の中で貴重な体験をしてきた人たちが残っていることも忘れてはならない。

せせらぎの間をぬらして初螢

緑町 松林 真弓

【句評】間に浮く螢火は恋の逢瀬にしてはなんとも地味で切ない。「ゆるやかに着てひとと逢ふ螢の夜 信子」という名句があるが、螢を詠んだ句には神秘的で艶やかな句が多い。掲句も一句の調べが詩情豊かで恋螢の切なさを見事に詠嘆している。初螢としたことによって青白い螢火が桃色にさえ見えてきそうである。

邂逅の仏縁を謝す蓮の花

渡柳 大西 道子

【句評】邂逅とは思いがけず巡り合ったことである。蓮は仏界の花というイメージがあり、作者はこの出会いがきつと仏さまのお引き合わせかもしれないと感謝した一句である。人間関係が希薄になりつつある現代社会の中で、久方ぶりの出会いを喜び感謝する作者の真情に安堵感を覚える。古代蓮の里あたりの一景であろうか。

バッタの子追われ追われて草になる

小見 三宅 典之

沢水に光尾を引く螢の夜

忍 大澤 由子

花牡丹ゆれて視線を遊ばせり

長野 牧 努

睡蓮に雨来て白し沼の昼

棚田町 川鍋 幽覚

入道雲大円墳の上に立つ

藤原町 斎藤雄次郎

独り酒間にひっそり遠花火

佐間 西岡 備中

山里に響く鈴の音青嵐

忍 松岡 弘子

（三沢一水 選評）



7/26・27 浮き城まつり
SAT SUN

連日気温が35度を超える中、行田の夏の風物詩である「2025 行田 浮き城まつり」が開催されました。

土曜日は前夜祭としてステージイベントの他、キッチンカーや飲食ブース、縁日などが開催されました。そして祭りの本番、日曜日には日が暮れ始める頃に「浮き城だんべ踊り」がスタート。参加した踊り連はそれぞれお揃いの衣装に身を包み、オリジナリティ溢れる息の合った踊りを披露しました。

祭りのフィナーレを飾る「山車の叩き合い」では、熱気に満ちた参加者たちの大きな掛け声とともに、笛や太鼓の祭りばやし夏の夜空に大きく響き渡りました。



8/7
THU

夏休み一日消防士体験

消防本部と埼玉県防災学習センターで一日消防士体験が行われ、小学4～6年生の児童73人が参加しました。

消防庁舎の見学の他、救助訓練や放水訓練、地震体験および煙体験を行いました。防火衣着装訓練では、消防職員に手伝ってもらいながら防火衣を着用し、ヘルメットをかぶると、参加した児童らはりりしい顔つきになり、消防士の気分を味わっていました。



8/3
SUN

日本遺産のまち 足袋蔵昔体験セミナー

牧禎舎で「日本遺産のまち 足袋蔵昔体験セミナー」が開催されました。

このイベントは昭和初期の子どもたちの遊びや暮らし、ものづくりを体感してもらうもので、市内外から12人の児童が参加しました。足袋と暮らしの博物館で行われた足袋作りでは、足袋職人が行う足袋づくりの工程を真剣な表情で聞いたり、実践したりしていました。



8/7・8
THU FRI

こども司書チャレンジ

図書館で小学5・6年生6人が「こども司書」にチャレンジしました。

このイベントは図書館のカウンター業務の他、本の配架、本の修理、本を手取るきっかけとなるポップの作成など司書の仕事を体験するもの。

参加した児童らは図書の貸し出しや返却の業務など、利用者とのやり取りに緊張しながらも、丁寧に対応し、時折笑顔を見せていました。司書の仕事の楽しさ、難しさを学ぶ2日間となりました。



8/9
SAT

ゆかたで打ち水大作戦 2025 in 行田

忍城御三階櫓東側の歩道で、ハクビ京都きもの学院埼玉校主催の「ゆかたで打ち水大作戦2025 in 行田」が行われました。

「忍城で学ぶ行田足袋と日本遺産」と題したこのイベントには午前・午後で計36人が参加。それぞれお気に入りの浴衣や夏らしい足袋などに身を包み、暑さを忘れるかのような笑顔で水をまきながら、和装文化の情緒ある風情を楽しんでいました。打ち水の後には、学芸員による行田の日本遺産に関する講話も開催され、参加者らは熱心に耳を傾けていました。





行田と熊谷の演奏家による 『秋の名曲コンサート』

- ▶日時 10月5日(日)午後1時30分
開演(午後0時50分開場)
- ▶場所 「みらい」ホール
- ▶曲目 「落葉松」、「カチューシャの唄」、「ラ・カンパネッラ」他
- ▶定員 500人
- ▶出演 中川越百(ソプラノ)、岩下美穂(マリンバ)、大久保英子、森田義史(ピアノ)
- ▶入場料 一般2,000円、高校生以下1,000円
- ▶主催 秋の名曲コンサート実行委員会
- ▶後援 行田市、行田市教育委員会
- ▶用 電話またはメールでYM Music ☎531-3630【Eメール】infoyoshifumi@gmail.com、もしくは電話で宮脇書店行田店 ☎554-6300
- ▶用 山本 ☎090-2258-7757

女優 吉永小百合展

- ▶日時 9月1日(月)～10月31日(金)
午前9時～午後3時※土・日曜日、祝日を除く
- ▶場所 武蔵野銀行行田支店ロビー(行田4-5)
- ▶内容 吉永小百合さんの映画ポスター、雑誌、広告物などの展示
- ▶用 栗原 ☎090-1535-4460

小柳ルミ子写真展

- ▶日時 9月1日(月)～10月31日(金)
午前9時～午後4時※土・日曜日、祝日を除く
- ▶場所 JR行田駅前郵便局ロビー(壱里山13-2)
- ▶内容 1988年～1993年のディナーショーで撮影された写真などの展示
- ▶用 栗原 ☎090-1535-4460

令和7年度県民の日協賛 「郷土芸能市民のつどい」

- ▶日時 10月12日(日)午前9時30分
開演
- ▶場所 産業文化会館ホール
- ▶内容 舞踊、邦楽、歌、足袋蔵の街行田「着物ショー」
- ▶主催 郷土芸能市民のつどい実行委員会
- ▶共催 (公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団
- ▶用 同実行委員会根津 ☎556-7605

もりまなぶ 生誕100年記念作品展

- ▶日時 10月14日(火)～19日(日)午前10時～午後5時30分(19日は午後5時まで)
- ▶場所 埼玉県立近代美術館(さいたま市浦和区常盤9-30-1)一般展示室3
- ▶内容 行田市出身の画家もりまなぶさんの生誕100年を記念して代表作の版画屏風「日本の抒情」(第1回東京国際版画ビエンナーレ展(1957年)で文部大臣賞受賞)など約70点を展示
- ▶後援 埼玉県、行田市、行田商工会議所、埼玉新聞社、テレビ埼玉
- ▶用 もりまなぶ生誕100年作品展実行委員会 ☎556-6525

ちいさな鐵道展

- ▶日時 9月1日(月)～30日(火)午前9時～午後6時(土曜日は午後1時まで)※木・日曜日、祝日を除く
- ▶場所 ミキ薬局埼玉行田店(佐間1-27-3)
- ▶内容 記念乗車券や駅弁掛け紙、鉄道関係の雑誌やおもちゃの展示
- ▶用 栗原 ☎090-1535-4460

イベント

第33回 浮き城のまち 行田こどもまつり

- ▶日時 10月12日(日)午前9時30分～午後2時
- ▶場所 水城公園市民広場(雨天の場合はコミュニティセンターみずしろ)
- ▶内容 クラフト体験やバルーンアート、スタンプラリーなど
- ▶用 生涯学習課 ☎556-8319

第3回星河花火大会

- ▶日時 11月8日(土)午後3時～8時(花火は午後6時30分から打ち上げ開始)※雨天時は9日(日)
- ▶場所 斎条神社(斎条1226)
- ▶内容 行田市の活性化をテーマとしたお祭り。夜空を彩る花火(約500発)の他、キッチンカーなどの出店あり
- ▶出店料 1区画2,000円
- ▶主催 星河花火大会実行委員会
- ▶後援 行田市
- ▶その他 花火の打ち上げに際し、実行委員メンバーおよび協賛者を募集します。申し込みは10月10日(金)までにEメール(saisipu_hirouno@yahoo.co.jp)で同実行委員会委沢※協賛金は1口1万円から
- ▶用 同実行委員会委沢 ☎090-8054-9444またはinstagram[hoshikawa_hanabitaikai]にDM



行田光友写真会 第103回写真展

- ▶日時 10月3日(金)～5日(日)午前9時～午後5時(5日は午後4時まで)
- ▶場所 コミュニティセンターみずしろギャラリー
- ▶入場料 無料
- ▶主催 行田光友写真会
- ▶後援 行田市
- ▶用 同会大澤 ☎090-7273-5438

広告

地産地消

空き家活用セミナー

- ▶日時 9月21日(日)午後1時開始
(午後0時45分開場)
- ▶場所 中央公民館第2学習室
- ▶内容 空き家利活用の実例や具体的な方法、リフォームマッチングサイトの紹介、職人の仕事量向上方法、質疑応答、個別相談、空き家賃貸診断
- ▶対象 空き家になりそうな物件をお持ちの方、空き家の所有者、職人
- ▶定員 50人(先着順)※当日参加可
- ▶持ち物 筆記用具
- ▶共催 株式会社エンドユーザー、行田市
- ▶申・問 二次元コードを読み取り必要事項を入力し送信するか、電話で株式会社エンドユーザー ☎501—7431【Eメール】info@enduser.jp



市民講座

首都圏の大動脈と地域を守る「武蔵水路」

- ▶日時 9月26日(金)午後1時30分～4時
- ▶場所 利根導水総合管理所(須加4369)
- ▶内容 市内を流れる武蔵水路の歴史と役割などについての講演と佐間水門などの主要な施設の見学
- ▶対象 市内在住の方
- ▶定員 20人(先着順)
- ▶持ち物 飲み物、歩きやすい靴(サンダル不可)
- ▶主催 独立行政法人水資源機構利根導水総合管理所
- ▶申 9月17日(水)までに二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信
- ▶問 同管理所荒井 ☎557—1501



教室・講座・講習

女性活躍推進事業セミナー

「第一印象アップ! 基本のメイク講座～就職活動・オフィス編～」

- ▶日時 9月27日(土)午前10時～正午
- ▶場所 男女共同参画推進センター2階学習室
- ▶内容 就職活動や面接において第一印象を左右する「身だしなみ」としてのメイクを学ぶ。
- ▶講師 ちふれホールディングス株式会社 美容研究部 社員
- ▶対象 市内在住・在勤・在学の方(高校生～50歳)
- ▶定員 24人(先着順)
- ▶持ち物 筆記用具、髪留め(ヘアクリップやヘアターバンなど)、タオル、タオル留めクリップ
- ▶その他 化粧をしてくる場合はマスカラはつけずに薄化粧でお越しください。また、ひととき保育(2歳以上の未就学児)が可能です。※9月13日(土)までに申し込み
- ▶申・問 9月2日(火)午前9時～9月18日(木)に行田市電子申請・届出サービス、直接、電話のいずれかの方法で男女共同参画推進センター ☎556—9301



介護者教室「住み慣れた自宅で最期まで～在宅看護～」

- ▶日時 9月12日(金)午後2時～3時30分
- ▶場所 忍・行田公民館
- ▶内容 終末期を迎えた本人の尊厳、意思を尊重することの大切さや実例を踏まえた在宅看護について学ぶ。
- ▶講師 ケアセンターさきたま看護師
- ▶対象 家族の介護をしている方
- ▶定員 25人(先着順)
- ▶持ち物 筆記用具
- ▶申・問 9月11日(木)までに電話で地域包括支援センターほんまる ☎578—7761

子育て談話室「たんぽぽ」

- ▶日時 10月6日(月)午前10時～11時30分
- ▶場所 総合福祉会館「やすらぎの里」
- ▶内容 子育ての悩み・不安を仲間同士や先輩ママと解決していく。
- ▶対象 市内在住で乳幼児を持つ保護者
- ▶定員 親子30組(託児あり)
- ▶参加費 1組100円
- ▶主催 行田市民生委員・児童委員連合会
- ▶後援 行田市、行田市教育委員会、行田市社会福祉協議会
- ▶申・問 9月5日(金)～10月3日(金)に二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信するか、電話で同協議会 ☎557—5400



こどもの居場所フェア埼玉

- ▶日時 10月11日(土)午前11時～午後4時
- ▶場所 大宮ソニックシティ第1・第4・第5展示場、イベント広場(さいたま市大宮区桜木町1—7—5)
- ▶内容 こども食堂などのこどもの居場所について、県民の認知を広げるとともに、こどもの居場所活動を支える企業・団体などの支援の輪を広げるため、こどもの居場所の世界を体験できるさまざまなコンテンツを実施する。
- ▶入場料 無料
- ▶主催 埼玉県こどもの居場所フェア実行委員会
- ▶問 埼玉県こどもの居場所フェア運営事務局 ☎03—6231—1788(午前10時～午後6時)※土・日曜日、祝日を除く



広告



楽しく体験

秋のこども武道体験教室

- ▶日時 10月1日～30日の毎週水・木曜日(全10回)午後5時～7時(水曜日)、午後7時～9時(木曜日)
- ▶場所 行田グリーンアリーナ柔道場他
- ▶内容 空手やテコンドーなどの技を学び、心と体の成長を目指す。
- ▶対象 5歳以上
- ▶費用 1,500円(保険料を含む)
- ▶申・問 武活道福田 ☎090—3594—9590

ターゲットバードゴルフ体験会

- ▶日時 10月1日(火)～14日(火)午前10時～正午
- ▶場所 総合公園野球場西側
- ▶内容 羽が付いたゴルフボールをゴルフクラブで打ち、打数を競うスポーツの体験会
- ▶服装 運動しやすい服装
- ▶後援 行田市教育委員会
- ▶その他 使用するクラブ、ボール、マットは用意します。
- ▶申・問 行田市ターゲットバードゴルフ協会岩崎 ☎090—1771—9479

相 談

行田・羽生・鴻巣地域合同就職相談会

- ▶日時 9月18日(木)午後1時～3時30分
- ▶場所 商工センター2階ホール
- ▶内容 人材を募集する企業と求職者のマッチングを図るため、企業の人事担当者と個別に面談を行う。
- ▶主催 埼玉県、行田市、羽生市、鴻巣市、ハローワーク行田
- ▶申・問 二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信するか、電話でハローワーク行田 ☎556—3151(職業相談部門41#)



はじめての着付け教室

- ▶日時 10月14日～12月2日の各火曜日(11月11日を除く)および12月6日(土)午後6時～8時※12月6日は花手水ライトアップイベントに合わせて忍城址周辺の散策
- ▶場所 産業文化会館創作室
- ▶内容 簡単で美しく、気軽に楽しめる着付けを学ぶ。
- ▶定員 10人(先着順)
- ▶参加費 3,000円(保険料を含む)
- ▶主催 (公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団
- ▶申・問 9月10日(火)午前10時から直接または電話で同館 ☎556—6371(電話による申し込みは午後1時から)

熊谷高校同窓会行田支部講演会

- ▶日時 10月25日(土)午後3時30分開演
- ▶場所 商工センター403研修室
- ▶演題 「小さな町から未来を創る」
- ▶講師 富田能成さん(高36回卒・横瀬町長)
- ▶主催 熊谷高校同窓会行田支部
- ▶問 同事務局田島 ☎080—3004—9081(午前10時～午後6時)

わかりやすさNo.1

秋の気功体操&太極拳体験会

- ▶日時 10月1日～30日の毎週水・木曜日(全10回)午前10時～11時
- ▶場所 行田グリーンアリーナ柔道場・剣道場
- ▶内容 気功体操で免疫力を高め、太極拳で足腰のバランスを整える。※いずれかのみ参加可
- ▶参加費 1,500円
- ▶持ち物 バスタオル、室内履き
- ▶申・問 電話で行田健康気功太極拳サークル福田 ☎090—3594—9590

はじめてのハンドメイド教室
つまみ細工&リース作成教室

- ▶日時 10月25日、11月29日の各土曜日午後1時～3時
- ▶場所 産業文化会館第2会議室
- ▶内容 【10月25日】つまみ細工の作成【11月29日】クリスマスリースの作成
- ▶対象 小学2年生以上(小学生は保護者同伴のこと)
- ▶定員 15人(先着順)
- ▶参加費 各回1,500円(保険料・材料費含む)※返金不可
- ▶主催 (公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団
- ▶申・問 9月27日(土)午前10時から直接または電話で同館 ☎556—6371(電話による申し込みは午前11時から)



女性のためのマネーセミナー

- ▶日時 9月20日(土)①午前10時～11時30分②午後2時～3時30分
- ▶場所 コミュニティセンターみずし205会議室
- ▶内容 ゼロから学ぶお金の基礎講座
- ▶定員 各回10人(先着順)
- ▶参加費 無料
- ▶主催 T&Fエイド
- ▶問 二次元コードを読み取り必要事項を入力の上送信するか、電話でT&Fエイド高橋 ☎080—3758—5707



広告

募集

彩の国動物愛護推進員

- ▶ **募集期間** 9月1日(月)～11月30日(日)
- ▶ **活動内容** 動物の愛護と適正な飼養・管理に重要な啓発活動、繁殖制限措置に関する助言や譲渡仲介の支援、動物の愛護と適正飼養を推進するため埼玉県が行う施策への協力、その他動物の愛護と適正な飼養の推進のため埼玉県が必要と認めること
- ▶ **■** 埼玉県ホームページまたは各保健所、埼玉県動物指導センターに設置する募集要領をご確認ください。
- ▶ **■** 埼玉県生活衛生課総務・動物指導担当 ☎048—830—3612【Eメール】a3600-09@pref.saitama.lg.jp



自衛官等

防衛医科大学校(医学科)

- ▶ **受付期間** 10月8日(水)まで
- ▶ **試験日** 【1次試験】10月25日(土)【2次試験】12月17日(水)～19日(金)のうち1日
- ▶ **試験会場** 受付時にお知らせ
- ▶ **対象** 日本国籍を有する18歳以上21歳未満の方

防衛医科大学校(看護科)

- ▶ **受付期間** 10月3日(金)まで
- ▶ **試験日** 【1次試験】10月18日(土)【2次試験】12月6日(土)・7日(日)のうち1日
- ▶ **試験会場** 受付時にお知らせ
- ▶ **対象** 日本国籍を有する18歳以上21歳未満の方
- ▶ **その他** 試験期日および試験会場は変更する場合があります。
- ▶ **■** 防衛省自衛隊埼玉地方協力本部熊谷地域事務所 ☎522—4855

法の日無料法律相談会

- ▶ **日時** 10月4日(土)午前10時～午後1時(受け付けは午後0時30分まで)
- ▶ **場所** 熊谷市立商工会館2階大ホール(熊谷市宮町2—39)
- ▶ **内容** 弁護士が法律相談に応じる。
- ▶ **主催** 埼玉弁護士会熊谷支部
- ▶ **その他** 事前予約は不要です。
- ▶ **■** 同会熊谷支部 ☎521—0844

不動産無料相談会

- ▶ **日時** 10月4日(土)午前10時～午後4時
- ▶ **場所** 八木橋百貨店1階東側特設会場(熊谷市仲町74)
- ▶ **主催** (公社)埼玉県不動産鑑定士協会
- ▶ **その他** 事前予約は不要です。相談時間は1組当たり30分程度です。
- ▶ **■** 同協会 ☎048—789—6000

県北地域障害者就職面接会

- ▶ **日時** 10月10日(金)午後1時～4時
- ▶ **場所** 熊谷スポーツ文化公園熊谷ドーム内体育館(熊谷市上川上300)
- ▶ **内容** 障がいのある方を対象に約25社の企業が参加する就職面接会
- ▶ **定員** 100人(事前予約制)
- ▶ **持ち物** 障害者手帳(写し)、応募書類(履歴書・職務経歴書)、面接希望表(本人控)、スリッパ
- ▶ **主催** 熊谷公共職業安定所、熊谷公共職業安定所本庄出張所、行田公共職業安定所、埼玉労働局、埼玉県
- ▶ **■・■** ハローワーク行田(求人・専門援助部門) ☎556—3151(職業相談部門41#)

介護のお仕事 就職・個別相談会

- ▶ **日時** 9月12日(金)午後1時30分～3時30分※入退場自由
- ▶ **場所** 鴻巣市文化センタークレアこうのす3階大会議室A・B(鴻巣市中央29—1)
- ▶ **内容** 行田市・鴻巣市・北本市の介護事業所の担当者と個別相談会を実施する。
- ▶ **主催** 埼玉県福祉部高齢者福祉課介護人材担当
- ▶ **■・■** 当日までに二次元コードを読み取り、必要事項を入力の上、送信するか電話で埼玉県介護人材確保総合推進事業事務局(株式会社パソナライフケア) ☎0120—121—767(祝日を除く月～金曜日午前9時～午後5時)



2025年度 第3次求人企業合同面接会

- ▶ **日時** 9月19日(金)午後1時～4時(受け付けは正午～午後3時30分)
- ▶ **場所** 大宮ソニックシティビル4階市民ホール(さいたま市大宮区桜木町1—7—5)
- ▶ **対象** ①2026年3月に大学・短大・専門学校を卒業予定の方②既卒3年以内の方③2027年3月に大学・短大・専門学校を卒業予定でインターンシップを検討している方
- ▶ **参加費** 無料
- ▶ **持ち物** ①と②のみ履歴書(複数枚)
- ▶ **その他** 参加企業名は9月5日(金)からホームページに掲載します。参加企業の求人などの情報誌を来場者に配布します。入退場自由で事前予約は不要です。
- ▶ **■** 一般社団法人埼玉県雇用対策協議会 ☎048—647—4185

広告

はじめまして

令和6年9月生まれのおともだち

令和6年11月生まれのお子さんを募集します

9月1日月～30日火に電話またはEメールで広報広聴課(内線322)

- 応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、10月1日(水)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



我が家の座敷の花♡
みんなに笑顔进行きあう!



藤井 紫月
ちゃん(藤原町)

令和6年9月25日生まれ
父・克幸さん 母・瑞穂さん

いつも笑顔いっぱい♪
たくさん思い出そうね♡



大石 采奈
ちゃん(采町)

令和6年9月22日生まれ
父・正人さん 母・江里子さん

まなちゃんの笑顔が
大好きだよ♡



小島 茉那
ちゃん(持田)

令和6年9月5日生まれ
父・崇文さん 母・恵美さん

幸せをありがとう♡
健やかに育ってね



田嶋 水葉
ちゃん(押上町)

令和6年9月25日生まれ
父・佑磨さん 母・真衣さん

にこにこ笑顔が宝物



石坂 海翔
ちゃん(野)

令和6年9月25日生まれ
父・裕樹さん 母・裕摩さん

生まれてきてくれて
ありがとう。大好きだよ♡



白石 晃太郎
ちゃん(藤原町)

令和6年9月28日生まれ
父・拓也さん 母・千佐都さん

ママとパパの所に
来てくれてありがとう!



栗田 陽菜乃
ちゃん(持田)

令和6年9月24日生まれ
父・陽介さん 母・美帆さん

歩けるようになったら
たくさん歩こうね



荒川 叶人
ちゃん(城西)

令和6年9月11日生まれ
父・友之さん 母・広美さん

市長コラム — 新しい行田へ —

第23回「すご過ぎる! 今年の田んぼアート」

この夏の古代蓮の里は大変なことになっています。古代蓮と田んぼアートの両方が楽しめる7月の週末は、古代蓮会館1日の入館者数が過去最高の2,884人を記録しました。行田タワーに上るエレベーターが4時間待ちの日も珍しくありません。はい、その理由は、今年の田んぼアートが『劇場版「鬼滅の刃」無限城編』とコラボレーションした絵柄だからです。市と施設を管理する財団では、スムーズなご案内はもちろんのこと、古代蓮の里の中だけでなく行田のまちなか回遊など、お客様が待ち時間も楽しんでいただけるよう腐心しています。

さまざまな反響を呼んでいる今年の田んぼアートですが、ここで、私自身が特に市外の方から質問される内容を会話形式で再現してみます。

知人:「どうやって許可をもらったのですか?」

私:「映画公開時期と重なる点もあり、映画製作委員会側からオファーがありました。世界最大の規模と表現力を評価してもらったようですね。」

知人:「世界的なコンテンツとの交渉は大変だったのでは?」

私:「今回は行田市の田んぼアートと鬼滅の刃のコラボ

レーション、つまり共同で作品を作り出す取り組みなので大丈夫でした。」

知人:「なるほど…鬼滅の刃とコラボできるとは…まいりました。」

私:「フッフ、行田市の田んぼアートは世界一ですから。(こんなところでマウント取ってどうするんだと、自分に突っ込みを入れる。)

行田市に多くの人々を呼び込んでくれる『劇場版「鬼滅の刃」無限城編』に感謝、そしてご協力いただいている皆様に感謝します。田んぼアートが鑑賞できる11月中旬まで、さらなる経済波及効果を生み出していくことが課題です。市民の皆さんも、ぜひ田んぼアートをご覧ください。竈門炭治郎の鬼気迫る表情が精緻に描かれていて、感動すること間違いなし! です。



行田市長 行田邦子



今月の表紙

江戸時代から栽培が続けられてきた行田在来青大豆。その大豆になる前の枝豆が2023年に『さきたまめ』としてブランド化されました。9月末から10月中旬の20日間しか収穫できない貴重な枝豆で、収穫は夜明け前から始まります。

この機会に皆さんもぜひ、コクと香りが強く、甘みが特徴の『さきたまめ』を食べてみてはいかがでしょうか。



行田市公式LINEの
友だち登録はこちら!



現在の友だち登録数35,700人!